



インマヌエル便り

**IMMANUEL**

「神われらと共にいる」家は常に平和なり

社会福祉法人 婦人の園  
障害者支援施設 インマヌエル  
静岡県駿東郡小山町大御神356-7



## 広報 2019 年度版



### 二〇一九年の言 ヨハネ

ヨハネがイエスに言った、「先生、わたしたちについてこない者が、あなたの名を使って悪霊を追い出しているのを見ましたが、その人は、わたしたちについてこなかったので、やめさせました」。イエスは言われた、「やめさせないがよい。だれでもわたしの名で力あるわざを行ないながら、すぐそのあとで、わたしをそしることはできない。わたしたちに反対しない者は、わたしたちの味方である。だれでも、キリストについてくる者だといふので、あなたがたに水を一杯でも飲ませてくれるものは、よく言っておくが、決してその報いからもれることはないであろう。

(マルコによる福音書

第9章38節から41節)

「共に生きる」～私たちの支援について～

理事長 高橋 頼太

インマヌエルでは「自分を愛するように、あなたの隣人を愛しなさい」ーマタイによる福音書19:19ーを理念とし、自分を愛するように隣り人（利用者・同僚）に寄り添い支援・協力することを大切な価値として、開設以来三十七年間に渡って実践に努めてまいりました。

そして近年においては、保護者・地域と寄り添うことも重要で欠かすことの出来ない部分であると考え実践に努めております。

2019年度のインマヌエルでは、それらの積み重ねに立脚しつつ、「共に生きる」をテーマといたしました。

この点を踏まえ、今年度は「本人理解と合理的配慮に基づく意思決定支援」「障害者虐待防止法等に関わる取り組みの強化と遵守」「日中活動の充実」「高齢いきいき生活」等を重点項目に位置付けて、園内での支援のいっそうの充実に努めると共に、外部との関係にも重点を置き、他法人・他施設との連携をより強化しながら地域の行事への参加にも力を入れてきました。

インマヌエルをより良い職場としていくため、前年度から引き続き、労働時間や一日の過ごし方等について抜本的な見直しに取り組んできました。これらについては、今後もより一層の見直しを進める必要があります。高齢者と若者が混在するインマヌエルにおいて、増大する支援量を鑑み利用者にとっても職員にとっても生活しやすい状態を構築できるよう実行していきます。今年4月には改正健康増進法の全面施行により障害者支援施設も含めた公共施設全般が「原則屋内禁煙」となることから、職員や保護者の皆様の協力を得ながら、園内の健康増進法の施行に努めてまいります。

支援においては、日中活動における地域での活躍の場が増え、株式会社サンファーム富士小山での農園作業、地域イベントへの出店、小山町総合文化会館でのCafe PAZLの出店等、今までより地域の皆さまと近い場所で活動できるようになりました。この経験は我々にとって今後の活動を進めていく上でとても大切なものです。これから更に地域との連携を取りながら取り組んでいきます。

「共に生きる」このテーマは過去にも取り組んできたものです。昨今の社会状況や新型コロナウイルスに対する状況とおして、それぞれが誰か

のためを思い行動すること、支え合わなくては生きていけないことが人類の共通の課題であることが見えてきているのではないのでしょうか。そこで今年度は「共に生きる」を再度我々のテーマとし、「利用者」「職員」「保護者」「地域」の四者皆が互いのことを知り、学び合い、支え合える関係づくりを目指すことを大切にしていきます。終わりに、2019年度、インマヌエルをお支えくださったすべての皆様に感謝申し上げます。そして、2020年度もどうぞよろしくお願いいたします。

そして、日々インマヌエルで努力しているみんなを誇りに思っています。



# 行事報告 2019年4月～2020年3月

## 4月 イースター礼拝

大森復興教会（東京都大田区）で毎年4月（年によっては3月）に行われているイエス・キリストの復活を祝うイースター礼拝に、インマヌエルからも利用者・職員が参加しました。礼拝後は昼食と一緒に新年度体制の発表も行いました。



## 5月 運動会

今年度の運動会は午後から雨天となってしまいましたが、利用者・職員が赤・白・青の三組に分かれて、楽しく汗を流しました。

午後からの応援合戦では、利用者・職員の自由な発想を生かしたユニークな応援を展開しました。



## 6月 バス旅行

今年度のバス旅行は浅間園（山梨県笛吹市）へ桃狩りに行ってきました。保護者の方々も交え、美味しい桃を数え切れないぐらい頂きました。



## 9月 山中湖礼拝

今年度の山中湖礼拝はYMC A山中湖センターにて行いました。当日は好天の下、豊かな自然の中で主への祈りを捧げることが出来ました。

湖畔での礼拝の後、利用者・職員で美味しいカレーを頂きました。



## 9月 インマヌエル祭

今年のインマヌエル祭は台風の影響により屋内での開催となりましたが、保護者・ボランティアの皆様のお力添えも頂き、地域の皆様と交流を深めることが出来ました。



## 10月 ふれあい広場

小山町社会福祉協議会様が主催するふれあい広場に今年度も参加させて頂きました。インマヌエルからはコーヒー・パン・作業作品等を出店しました。



## 12月 第38回聖誕劇

インマヌエルでは1982年の開園以来、毎年クリスマスの時期にイエス・キリストのご降誕のストーリーを聖誕劇として利用者・職員全員で演じております。

今年度は他行事との兼ね合いで練習の時間が十分に取れないこともありましたが、演者一人ひとりが自分の役柄を理解し、しっかり演技することによって、クリスマスの日にイエス・キリストが生まれた意味を表現しました。



## 12月 晩餐会 (忘年会)

インマヌエルの晩餐会では、お祈りやキャンドルサービスを通じてクリスマスへの理解を深めるとともに、利用者・職員への1年間の労いも兼ねて美味しい食事をみんなで楽しんでいます。

今年度はパン・ビーフステーキ・オニオンスープ等をメニューとしました。

また、忘年会の出し物として、サンタさんからみんなへのクリスマスプレゼントを配りました。





思  
い  
出  
写  
真  
館







## ☆作業紹介☆

### 陶芸・創作班(作業棟班)

今作っている作品は、陶芸（現在は焼かない粘土）で植木鉢やマグネット、織で座布団、編み物でマフラーやシュシュ、刺し子で花布巾、木工で桧のシューズストッカーや木幹の置き物台、ビーズでブレスレット・メガネチェーン・ネックレス等絵画作品からポチ袋や販売用の袋等です。メンバー一人ひとりが作る楽しさをより多く感じられるよう、そして販売につながる喜びもしっかり味わえるよう工夫していきます。また、メンバーの感性を活かした作品作りも常に課題としています。



### アート・機能維持班 (イエローハット班)

作業内容は主にビーズづくり、絵画を行っています。  
天気の良い日などは、散歩をしたり利用者さんが楽しんで参加できるようにしています。作品の数もたくさん作ることができ販売にもつなげる事ができています。意欲的に作業に参加する利用者さんも多く、一生懸命に作品を作る姿が見られています。イエローハットでは、雰囲気をととても大事にしている、個々のニーズを尊重できるよう取り組んでいます。自己表現の場でもあるので皆と楽しい時間を過ごせるように工夫して行きたいです。



### リサイクル・畑班

養鶏班改めリサイクル班として、新たに新作業を開始し始めています。まだまだ出来る事が少ないですが、ダンボール等の古紙回収をメインに頑張っていきたいと思います。  
その他にも、従来の農作業も継続して、美味しい野菜を作っています。今後も出来る事を考えて頑張っていきたいと思います。



## パン製造・販売 「みいちゃんパン」

地域のみなさま、「みいちゃんパン」をお引き立てくださり、まことにありがとうございます。おかげさまで「みいちゃんパン」も10年目を迎えます。保存料を使用しない手作りパンです。みなさまの笑顔を楽しみにパン作業、移動販売を頑張っています。小山町文化会館内にオープンした「Café PAZL」やイベントでの販売も行っています。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 清掃活動

特別養護老人ホーム徳風園・平成の杜に行っています。徳風園には18年前から、平成の杜は今年で5年になります。

施設での仕事と違い、まだ戸惑う事も少しありますが、みんなも一生懸命頑張っています。



## 就労体験 アメーラトマト

サンファーム富士小山農場に、今年の4月から施設職員と一緒に就労体験に行っています。一人ひとりができること、できないことを補い合いながら仕事をしています。まだ始めたばかりで失敗もありますが、農場の方々にも支えられて頑張っています。



# !就労支援実習!

インマヌエルでは現在、利用者の自己実現を後押しする為、就労支援実習を行っています。実習の内容は利用者それぞれのニーズによって園外・園内を含め計7種類のものがあります。利用者の皆さんはそれぞれ自分の目標を持って日々頑張っています。実習の種類は以下の通りです。

## 園外

- トマト農場作業（苗木や栽培ポッドの片付け）
- 清掃ボランティア（平成の杜・徳風園の施設内清掃）
- パンの移動販売（パンの袋詰めなどの販売準備・販売接客の補助）
- カフェのイベント出店（器具の洗浄・販売接客の補助）

## 園内

- パンの製造（製造補助・器具の洗浄）
- 厨房補助（食器洗い・食堂内清掃）
- なんでもショップ（接客補助）



また、昨年度に引き続き、6月9日に川崎市にあるプロレス団体ヒートアップ様より御殿場大会においての就労実習のお誘いを頂き、希望者が会場準備や興行運営の補助として参加させていただきました。ヒートアップの皆さんの適切な指示・支援もあり、皆さん普段とは違う状況に緊張した面持ちでしたがそれぞれの役割をしっかりと果たす事ができました。実習に参加したメンバー全員が仕事をする喜びを経験させていただいています。実習に参加しなかった利用者についても観戦にご招待を頂き一緒にプロレスの試合を楽しませていただきました。



利用者ページ

## 聖誕劇 インタビュー

やってみての感想を何人かのお友達に聞きました！

石塚 英夫さん（博士）

博士、上手に出来た。

義足なので座る場面は大変だったが頑張れた。次もやっぱり博士がやりたい。

齊藤 富士子さん（博士）

今回の聖誕劇、失敗もあったけど上手に出来た。セリフを間違えてしまった。来年も、博士がやりたい。

高村 昭彦さん（博士）

仕事の時間が多く、あまり練習に参加出来なかった。

何回かやったことがあるのでしつかり出来た。ただ、自分の台詞をもう少し大きな声ではつきり言えれば良かった。次はヘロデ王をやりたい。



橋本 以恵子さん（旅人）

旅人頑張ったよ。良かった。毎年みんなで行なえているから良かった。次回はコーラスとかもやってみたい。



西川 真琴さん（旅人）

練習では真面目に出来なかつたが、本番ではしつかりと頑張った。次も旅人もやりたい



山崎孝子さん（マリヤ）

昨年体調が悪く、本番に出る事が出来なかった。今年は出れて良かった。楽しんで上手に出来た。言葉をハッキリ言えて間違えなかった。



岡田 真司さん（律法学者）

落ち着いて出来た。練習から一生懸命やった。次も律法学者をやりたい。



高橋 武人さん (宿屋)

宿屋上手に出来た。劇中の歌も声が出せて頑張れた。次回も宿屋をやりたい。

清水 久子さん (宿屋)

宿屋は自信を持って出来るどころ。声を出せて間違えなかったこと。  
これからも宿屋をやる。



深野 牧子さん (宿屋)

セリフは上手に言えた。緊張して、「どうぞお入りください。」の声があまり出せなかった。次回も宿屋を頑張る。

江場 祥一さん (宿屋)

宿屋、楽しく出来たよ。大きな声が出せた。失敗もしなかった。次回は天使もやってみよう。



提箸 満さん (けらい)

頑張った。上手に出来た。セリフも言えた。次もけらいをやるよ。

松井 隆太郎さん (けらい)

けらい、楽しかった。またやりたい。  
王様がお呼びです。」のセリフをちゃんといえたこと。



田原 真さん (ヘロデ王)

立ち上がりは難しかったが、本番は立つことが出来た。



近谷 貴英さん (羊飼)

頑張った。大きな声は出せた。  
イエスを捜す時、多く周ってしまった。  
次回はヨセフかガブリエルをやりたい。



桐谷 綱恵さん（コーラス）

ちよつと歌い出しが難しかったです。

「きよしこの夜」は声も出せて上手に歌えた。

杉原 春美さん（コーラス）

半分頑張れた。なぜ半分かというと

歌の順番を間違えてしまったから。

「あらののはて♪」は難しかった。

次もコーラスをやりたい。



利用者を憶んで

# 青藤笙子さん

## 『笙子ちゃんへ』

てんごくでしあわせにくらしてください。

笙子ちゃん、だいすきです。 北浦幸子

笙子さんのおもちやがとてもたのしかった。

猫のおもちやで声が出るのが面白かった。

天国で仲良くしてください。 長坂美子

素敵な笑顔でみんなに好かれるし、職員園

生皆からモテてかわいがられる存在だった。

聖誕劇も車椅子で頑張っていたね。すばらし

い人だった。これからも見守っていてね。

石川たま

3班のコタツで、トランプやカルタ、ゲー

ムをみんなでした事が良かった。 山崎孝子

仲良しだったよ。かわいいところが好きだ

った。色々な歌を歌ったよ。 杉原春美

昔笙子ちゃんと、みんなでダンボール回収

に行った事が良かった。笙子ちゃんのお母さ

んにもあったことあるし、話したことあるけ

ど優しい人だった。

桐谷綱恵



笙子さんは誰にでも、「おいでよ。こっち座

りな」と優しく受け入れてくれました。また、

お友達同士のケンカを見ると、皆の注目が自分

に向くように大きな声を出してケンカの仲裁を

してくれたりしていました。

怒るときは顔を真っ赤にして怒ったり、時には

歌の本を見ていて急に歌ったり、ウクレレを弾

いてくれたり、歯痛、頭痛がすると言うと、笙

子さんお勧めの薬を教えてくれたり・・・。

周りに流されず、マイペースさを忘れない笙子

さんでしたが、しっかり他のお友達の状況も見て

いました。そんな笙子さんの雰囲気は3班の利用

者職員の気持ちも穏かにさせてくれていました。

笙子ちゃん大好きです。これからも私達を見守っ

ていてくださいね。

吾妻浩子

職員を偲んで

# 高橋集富先生

「よせふ。パパへ」

まきと武ちゃん釣りに行ったね。大森の礼拝にも行ったね。竹の子ほりにも行ったね。滝亭のホテルはみんなで行きましたね。パパに大森の教会と一緒にこれからも行くからねって行ったのに行けなくなっちゃったね。潮干狩りにも行ったね。てんかんセンターにも行ったね。いっぱい思い出あるよ。ありがとう。

深野牧子  
高橋武人



面白い人だった。お墓参りに一緒にいてくれた。

杉原春美

北鎌倉にある大堀先生のカウンセリングに、お友達と一緒に連れて行ってもらいました。わたしが入院している時に、お見舞いに来てくれました。成人式を迎えたときに写真を一緒にとってくれました。

相澤順子

屋根がいっぱいあるホテルにみどり先生と旅行に行った事が思い出。楽しかった。家にも来てくれたんだよ。

長坂美子

よせふ先生、昔頼太先生と永久先生と公園に行つて遊びました。とんかつも食べました。

齊藤富士子

一番楽しかったのは一緒に大森の礼拝に行つた事が良かった。安らかに眠ってください。よせふ先生の車で洋服を買いに行つてもらえた事が嬉しかった。

石塚英夫

よく竹の子掘りに行きました。色々な所に行くたびに、食べ物も買ってくれました。上野に行つちやつた時に迎えに来てくれました。作業では一緒に鶏小屋を作りました。怒られる事もあつたけど、優しくかったです。

松田信男



ヨセフ先生とは二十三年雨からの付き合いになります。インマヌエルに入社して、涉外活動では一緒に動く事も多かったです。ドタバタ珍道中でアポなしで会社に訪問するなど、無茶振りばかりで、道中は僕と必ず喧嘩をしていました。ヨセフ先生からはもう一人の息子が増えたようなものだったといわれた事が今でも思い出されます。みんなの支援についても、ぶつきらぼうで伝えることは決してうまくなかったですが、本心で一人一人の事も考えて時には園生とも正面からぶつかることもありました。お酒を飲みながらとんと語つたなあと思います。

これからインマヌエルも移転を迎えて新しい風が増えます。よくヨセフ先生が言っていた「身体と心をつかつた支援を忘れず、胸においていきたい」と思います。

ヨセフ先生は地獄行きの心配をしていたようですが、僕達に残してくれた事を考えれば、何の問題もなく天国にいて欲しいと思います。まだまだ先ですが、天国に行く時にはまた会つてたくさん言い合いをしたいと思っていますので、その時はよろしく。僕達みんなを近くで見守つていてください。色々ありがとうございました。言い尽くせない感謝と祈りを捧げていただきます。

井出貴也





## 新任職員の紹介

「よろしくお願ひします」

高山 秀子



2019年1月から働いています。あつという間に1年が過ぎてしまいました。

まだまだ、分からないことばかりで園生の皆さんを戸惑わせてしまうこともあります。皆さんに教えていただきながら、日々成長していけるものと思います。

インマヌエルでの皆さんの生活が最良のものになるように支援することが出来たらいいなと考えています。どうぞ宜しくお願いします。



「またよろしくお願ひします」

皆川 文女



昨年6月から厨房で盛り付けなどもお手伝いをさせていただいています。

以前は支援員として働かせていただいていたので、利用者の皆さん、職員の方々、御父兄の皆様には「見たことのある顔が戻ってきたな」と思われる方もいるかと思えます。

8年ぶりくらいになるので色々変わった所もたくさんありますが、みんなの元気な声を再び聞きながら、優しい厨房の職員の方々と毎日楽しく仕事をさせていただいていました。

ですが、復帰して1年経たず、3月からお休みをいただくことになりました。

お腹に子供がいることが分かり、産休をいただくことになりました。

元気な赤ちゃんを産んでまた戻ってきたいと思っています。

子育てに、仕事にまた頑張りたいと思うのでその時はまたよろしくお願ひします。



「よろしくお願ひします」

田代 陽大



初めまして。昨年の7月からパン工場の木村先生の下で働かせていただいている田代陽大といします。

以前は、長泉の工場や御殿場の工場、アウトレットや小山の富士霊園と様々な仕事に就いていました。そして、新しい仕事探しの為に小山町の主催する企業説明会に参加した折、理事長の頼太先生にお声掛けいただき、現在ここで働かせていただいています。

福祉もパンもほぼ未経験の為、毎日新しい発見を見つけられ、楽しく仕事をさせていただいています。

今後は、自分の作ったパンをより美味しくして、「インマヌエルのパンって美味しいよね。」と言って貰えるように修行していきたいと思います。これから宜しくお願いします。



# 新しい仲間の紹介



「これからよろしくお願いします」

江場 祥一

初めまして、江場祥一といたします。  
豊島区から来ました。26歳です。  
好きなことは音楽を聴くことで特にクラシックが大好きです。楽器も好きでピアノを弾いたりします。作業はアメリカ作業とビーズ作業を頑張っています。フットサルも練習して頑張ります。みんなと仲良くしたいです。これからよろしくお願いします。



「初めまして」

草間 愛子



初めまして、東京都北区から来ました、「くさまあいこ」です。  
みなさんと一緒に過ごす時間が好きです。園のみなさんのお名前を少しずつ覚えて仲良く過ごしていきたいと思えます。また、得意なことを見つけてこれから頑張っていきたいと思えますので、どうぞよろしくお願いします。



「初めまして」

森下 祐衣



初めまして、森下祐衣といたします。  
東京都福生市から来ました。2月で30歳になりました。  
好きなことは、歌や手遊び、テレビや本を見ることです。1番好きなことは食べることです。  
これからよろしくお願いします。みんなと仲良くなりたいと思っています。  
上手くおしゃべり出来ませんが、たくさん話しかけてくれると嬉しいです。



## 新入所者保護者様から

「松井隆太郎さん保護者様から」

2018年6月に入園させていただいた松井隆太郎です。1984年生まれ東京都狛江市出身です。

小学生の時に愛の手帳3級の障害認定を受けました。生まれた時に強い黄疸のため新生児室に1ヶ月入院しましたので、その影響で障害が出来てしまったのではと思っています。幼稚園、小学校、中学校と普通クラスで過ごしました。学校側からは特別学級を勧められましたが友達を作りたいので普通クラスでお願いしました。授業はついていけないのですがクラスで差別されることもなく可愛いがってもらいました。特に試験でブービーの子からはビリにならなくて済むので感謝されていました。ただ大人になってから迷惑行為をするのは、特別学級で教育しなかった反動かなと思ったりしています。高校は特別支援学校に行きました。大人になると、隆太郎は気に入らないと手が出る、気になる女性への後追い行為、お店での迷惑行為等で近所から注意人物扱いになり、一人で外出させられないので見張るのが大変でした。ショートステイは何箇所も経験しました

が迷惑行為で次がありませんでした。困っていた折、狛江市役所福祉課よりインマヌエルを紹介していただき面接を受ける運びとなりました。面接は園長先生、井出先生、渡邊先生とさせていただきますましたが、手が出るということで園長先生より叩いてごらんと言われて、隆太郎はお三方の頭をかなりの力で叩いてしまいました。そこで面接は終わりましたので親としては駄目かなと思いましたが、承諾の返事をいただいた時はとてもほっといたしました。入園してからもガラス割ったり、手が出たり、後追い行為したり、ご迷惑をおかけしておりますが先生方の辛抱強い指導で少しずつ改善されている事を聞き有難く思っております。今はアメリカトマトの作業を時々しておりますが、将来は作業が安定して出来る状態になると良いなと思っています。

来年引越予定の新しい園には喫茶コーナーが出来るという事なので何時でも園に面会に行けるのを楽しみにしております。

「草間愛子さん保護者様から」

2019年8月よりお世話になっております草間愛子の妹、太田友子と申します。姉の尊敬するところは、優しく思いやりがあり、そしてとても我慢強いところです。

会う時は必ず第一声が「元気だった？元気にし



てる？」と聞いてきます。その後には私の主人や息子のことも聞いてくれます。「みんな元気だよ」と返答すると嬉しそうにニコニコと笑ってくれます。

まだ入所して短いですが、皆様と日々穏やかにそして楽しく過ごしていけるようにと願っています。

また、施設の方々には色々ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、どうか温かく見守っていただけると幸いです。今後とも、よろしくお願い致します。

「森下祐衣さん保護者様から」

2019年11月よりお世話になっております、森下祐衣の母、森下登美子と申します。

園では好きな事を沢山して過ごして欲しいと思っております。音楽や童謡、運動が好きです。園の皆には一緒に仲良く過ごして欲しいと思っています。

大森の礼拝では一緒に過ごしたいと思っています。今後ともよろしく願います。



## 食べることは生きること 看護師 沖野綾子

よく耳にする言葉ですが、人は食べるために生き、生きるために食べるのです。



ひと昔前までは命をつなぐため、腹を満たすために季節に合った作物を作り、海や川に漁に出て山に狩りに行っていました。火を起こし時間をかけて毎日の食事を準備していました。生活の中のほとんどの仕事が生きるために食べ、食べるために生きることに費やされていました。

今では自分で農作物を作らなくても、自分で狩りに出なくても、スーパーに行けばたくさんの食品が並び、季節や地域に関係なく様々なものが手に入ります。

便利な家電のおかげで、調理も保存も後片付けも、アツと言う間に済ますことが出来るようになりました。便利になった今、食べることは腹を満たすだけではなく、美味しさや楽しみまで与えてくれるようになりました。

そして更に・より便利で・より簡単で・より美味しそうで・より手軽で・より長持ちする食品を求めた結果、周りにある食べ物は、防腐剤や着色などの添加物で溢れています。



体は食べたものでだけで作られています。  
もう少しだけ立ち止まり、もう一度食べる意味を考え、よりシンプルに生きるための食事を見直してはどうでしょう。



# 実習生より

帝京科学大学

教育人間科学部幼児保育学科

齋藤 未来

『オリエンテーションを終えて』

今日は施設の見学と、施設の詳しい日課や理念についてお話を聞きました。最初はすごく緊張していましたが、施設に入ってから、職員の方がとても優しく接してくださり、少し安心しました。また、利用者さんが玄関まで出迎えてくれて、手紙や折り紙を渡してくださり、すごくうれしかったです。また、その手紙の文字がきれいで読みやすいものだったので少し驚いてしまいました。折り紙も丁寧に折られていて、「自分達を待っていてくれたんだ」と思うとうれしくて緊張が少しほぐれたように感じました。

園長先生の話聞いてるうちに、少

しずつ自分の中にあつた実習へのイメージが変わっていきました。「具体的にこんな支援方法があるんだ」とか、「障害の知識を身につけることも大切だけど、それ以上に利用者さんとたくさんお話をして触れ合う中で、教科書的な知識よりも大事なことが学べる」とわかりました。

障害のある人として接するのではなく、「一人の人」としてその人自身をしっかり見てあげることがとても大切なのだとはわかりました。年齢の幅も広く、障害の度合いも違った様々な利用者さんがいる中で、できるだけ多くの人と対話して、少しでも仲良くなることができるとなりました。

実習期間の二週間は長いようできつと短いと思うので、限られた時間の中で精一杯自分にできることを見つけていきたいです。この先の人生の中で、二度と経験できないかもしれないこの貴重な体験を、自分の力で実りあるものにしていければと思います。

今日から二週間よろしくお願ひします。



鶴見大学短期大学部

保育科

柳下 尚美

『実習を終えての感想』

二週間の実習、ご指導ありがとうございました。

障害を持った方と関わりを持つのは今回が初めてだったということもあり、初日は、大きな声を出したり歩き回ったりしている方を見て、不安があったし、

怖さも感じていました。しかし、実習を終えた今考えると、普段の私たちの生活の中では日常的ではないそのような行動をしている人たちも、その人なりに何かを表現したり、職員の方に何かを伝えたかったりしている気持の顕れであるということが分かりました。

オリエンテーションの日、私が初めてインマヌエルに足を踏み入れた日、まだお互い名前も知らない状況の中、入口まで来て手紙を渡してくれたり、「たくさん遊ぼうね」と声を掛けてくださったりした利用者さんたちのおかげで、緊張もほぐれ、「実習頑張ろう」と思えることができました。

また、レクリエーションの際、それまであまり関わっていなかった男性利用者さんも参加するというところで、どの程度の難しさのものなら出来るのか分からず、不安なままのスタートでしたが、終わった後「すごく楽しかったよ」「思い出に残りました」などと、女性利用者さんだけではなく、男性利用者さんからも感謝の言葉を頂くことが出来、満足感や達成感

を味わうことが出来ました。

生活を共にしていく中で、少しずつ私と利用者さんの心の距離が近づいているということをも、とても強く感じ、私を受け入れてくださった利用者さんに感謝しています。女性は高齢の方が多いということもあり、昔の話やこの施設での話を聞かせていただく機会が多くあり、より障害者の施設に興味を持つようになりました。

朝必ず「おはよう」と「握手」をしてくれる利用者さん、自分の大切なノートを持ってきて私の隣に座り花の絵をプレゼントしてくれる利用者さん、家族の写真や私がジャニーズを好きと知って雑誌やCDを見せてくれる利用者さん、一生懸命字を書いて手紙をくれた利用者さん、「暑くないか?」「大丈夫か?」と私のことを常に気にかけてくれる利用者さん。インマヌエルに実習に来たからこそ出会い、仲良くなれたことに感謝しています。素敵な利用者さんと優しい職員の方に支えられて二週間の実習を終えることが出来ました。

本当にありがとうございました。



常葉大学

保育学部保育学科

宮田 千理

『実習を終えて』

一〇日間を通していろいろなことを体験させていただきましたが、その中でも特に一番勉強になったのはコミュニケーションの方法です。オリエンテーショ

ンの際、会話だけがコミュニケーションではなく、怒っていたり、泣いたりしているとき、隣にいただけでもコミュニケーションになる。教えていただき、寄り添う支援の大切さを今回の実習で身を持って体験することができました。

最初は障がいを持っていての方と関わったことがなかったため、不安と緊張でいっぱいでしたが、日を重ねるごとに「利用者の方をもっと知りたい」「楽しい」という気持ちが強くなりました。毎日利用者の方とお話していく中で、その方の得意なことや、好きな食べ物、性格など様々



なことを知っていくことができました。言葉を発することが難しい方でも手振りや表情で何をしたいのか、言いたいのか一生懸命伝えているため、それを感じ取って理解することが大切だと学びました。一人ひとり性格も違い、個性もある中、一人ひとりに合わせた支援を行うことは大変だけど、利用者の方が安心して心地良く生活するには欠かせないことで、とてもやりがいのある仕事だと思いました。

もう一つオリエンテーションの際、色々やってみて失敗しても次につなげるために、感じて考え、色々なことに疑問を持ち、利用者の方の前後の行動を観察することが理由につながってくるというお話を聞き、その言葉を頭に入れながら実習に臨みました。そのお話をしてくださったおかげもあり、利用者の方との関わりに失敗しても、無視されても挫けることなく、次はどうすればいいのか考えることができました。また、迷ったときには、先生方がアドバイスをしてくださり、とても励まされ「よし！頑張ろう！」

という気持ちになりました。

アメリラトマトやカフェにも参加させていただき、とても貴重な体験をすることができました。アメリラトマトでは、利用者の方が責任を持って仕事をするため、「障がいを持っている人」ではなく、「一人の人間」として接し、お金を稼ぐ大変さや責任の重さを教えるために、時には厳しさも大切なことだと学ぶことができました。カフェでは、カフェを開く理由には、利用者の方にも手伝ってもらい、地域と住民をつなぎ、福祉を知ってもらい、理解してもらおう架け橋になってほしいという願いが込められていると知り、とても感動を受けました。

この一〇日間、利用者の方も先生方も温かく迎えてくださり、相談事も嫌な顔一つせず、親身になって聞いてくれたので、疑問に思ったことやわからないことはすぐに相談できたり、支援の面でも気をつけることなど様々なことを教えてくださり、とても勉強になりました。何より、利用者の方にはたくさん笑顔を見ていただきました。利用者の方が好きなよう



に外に出たり、好きなように生活できるインマヌエルだからこそ、利用者の方もいきいきと暮らせていると知ることができたのでほんとうによかったです。

インマヌエルで実習ができて、心から「よかった」「うれしかった」と思っています。実習を受け入れてくださり、貴重な体験をさせていただきありがとうございます。利用者の方や先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

一〇日間ありがとうございました！

聖徳大学

児童学部児童学科

石村 優希

『実習を終えて』

一日間、障害者支援施設で実習をさせていただき、長かったようで短い期間に感じました。

最初は利用者の方とどうかかわっていいのかわからず、とても不安で少し怖いと思っていました。しかし、オリエン

テーションで園を案内されていた時に、初めて会ったのにお手紙を利用者の方からもらい、私たちのことを楽しみに待っていたことを知り、嬉しくなりました。

実習初日にはお手紙や折り紙をもらった、私から利用者の方に声を掛けられたら、たくさんお話をしてくれたりしました。一日一日を利用者の方と過ごしていく中で、自然に不安や怖いという思いがなくなり、どうしたらもっと仲良くなれるのか考えるようになりました。また、利用者の方から声を掛けてもらえたり、一緒に歌を歌ったり、折り紙をしたりすることが多くなりました。そして、利用者にも悩みがあり、その悩みを私たちに相談してくれるようになって、私たちの存在が利用者の方にとって身近で気軽に話せる人になっていったのかと感じるようになりました。利用者の方とかわる中で、時々話している言葉が聞き取れないことがあります、その時は利用者の方の様子を把握すること、表情から話したい言葉を連想することが必要であると思いました。また、レクリエーションにおいては、利

用者の方に好きな色など選んでもらうようにしたら良かったのかと思います。しかし、貼り紙の折り紙の色を多く用意したので、利用者の方の一人ひとりの個性が出ていて、とても良い作品ができました。

一日間、実習させていただきありがとうございます。とても良い経験となり、他の実習でも学んだこと、考えたことを活かして頑張りたいと思います。



インマヌエル代表クラウン(静岡市民の会クラウン)



☆市民クラウンとは？

市民クラウンは笑顔を届けるために活動しています。

毎年11月に、静岡県静岡市では、大道芸ワールドカップが開催されています。

この大道芸ワールドカップに来ていただいた人々に、もっと楽しんでいただきたい、もっと盛り上げたい。そんな思いから市民クラウンが誕生しました。

⇒インマヌエルでは現在、利用者・職員併せて3名が市民クラウンとして活動しています。

インマヌエルでは、利用者支援を目的に市民クラウンの活動参加を始めました。

上記の大道芸ワールドカップの他に、施設内外の様々なイベントへ参加させていただき、場の盛り上げを行なっています。

少しずつ地域の皆様にも認知されてきて、小山町内や御殿場市内のイベントにも参加させて頂けるようになりました。



まちのくまさん

(支援員：菊地隆弘)

クラウン活動をしていると、色々な人に憶えてもらえて、暖かな言葉を掛けていただいて、とても充実したクラウン活動を行なうことが出来ています。  
今後も皆様に笑っていただけるよう頑張りたいです。

クラウン「ギャラリア」としての活動を始めて5年。至らないところもありますが、お陰様で地域の皆さまからご好評(?)を頂けています。次年度はクラウンならではの芸を磨き、様々なイベントの盛り上げに貢献したいと思いますので宜しくお願いします。



ギャラリア

(事務員：中谷寿士)



まっちゃん

(松田信男さん)

たくさんの人に見てもらいたいです！  
いっぱいお話してがんばります！！

# 移転事業について

新東名高速道路（第二東名）御殿場 JCT～伊勢原 JCT間の建設工事（2023 年度全面開通予定）に伴い、インマヌエルでは来年春～夏頃に現在の小山町大御神から新しい場所に移転することを目指し、関係者の方々と協力のうえ準備を進めているところです。

## 新しいインマヌエルについて

新しいインマヌエルについては、(株)イチバンセン（東京都渋谷区、代表取締役：川西康之氏）に設計を委託しています。

現在は再入札に向けた予算の見直しに伴い、設計内容もその枠内に収まるよう調整をかけているところです。当初の計画から一部変更となる見込みですが、利用者の「安心・安全」を担保するという基本前提に反したものにならぬよう、協力会社とも連携しながら慎重に検討を進めています。



## 建設工事について

新しいインマヌエルの建設工事については、昨年の着工を目指しておりましたが、入札が不調に終わったため、現在は今年春の着工を目指し、再入札に向けた補償額（建設予算）の見直しや関係機関との調整を進めているところです。

移転先の造成工事については、おかげ様で一昨年12月に完了し、ネクスコからの引渡しも無事に済んでおります。

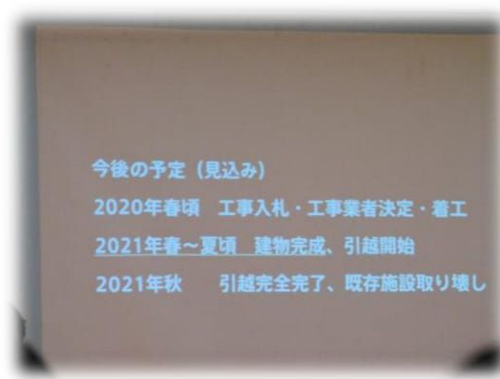
※お陰様で今年7月に建設工事の委託業者が決定し、8月から着工予定となっております。

## 新しい生活に向けた準備について

上記と並行して、(株)イチバンセン等の協力の下、2014年より「フューチャーセッション」を開催し、移転事業の進捗報告とともに、利用者・保護者・職員が一緒に移転後の新しい生活について考える機会を設けています。

本年度は1月5日の新年礼拝にイチバンセンの川西氏等をお招きし、移転事業の進捗や新しいインマヌエルの設計見直し等についてのご説明を頂いております。

その他、来年の引越しに備えて、園内の片付けや利用者の私物の整理等も進めているところです。



# インマヌエル相談支援事業所ノエル

社会福祉法人婦人の園では、2018年7月に「インマヌエル相談支援事業所ノエル」を開設致しました。

ノエルはフランス語でクリスマスのこと。クリスマスはイエス・キリストと私たちが出会い、新しい生き方を見出す時。この事業で地域の方々と出会い、お役に立てることを願ってスタートしました。

この1年程の間にも色々な出会いがあり、皆さんお一人お一人が自分らしい生活を築くことを目指して、サービス利用をされています。私たちはそのためのサポートを計画づくりとモニタリングの形でさせていただきます。

種 類：指定特定相談支援事業所

## ◆サービス内容

### ○基本相談

日常生活で困っていることや福祉サービスの利用案内等、様々な相談を「基本相談」としてお受けします。

### ○計画相談

障害福祉サービスを利用する際にサービス等利用計画を作成し、その利用状況のモニタリング（評価、見直し）、サービス事業者等との連絡調整を行います。

## ◆ご利用方法・料金

○お住まいの市・町の窓口、またはインマヌエル相談支援事業所ノエルまで御相談下さい。

○利用料は無料でご利用いただけます。

対 象：主に小山町・御殿場市に在住する障害等を持つ方々（18歳以上）

住 所：静岡県駿東郡小山町大御神356-7（インマヌエルと同じ場所です）

連 絡 先：電話 0550-78-1260 FAX0550-78-1262（インマヌエルと同じ場所です）

相 談 日：毎週 火・水・木・金曜日

相談時間：10:00～16:00

担 当：高橋 頼太（管理者）

高橋 みどり（相談支援専門員）



# 新型コロナ対策について

世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症（COVID-19）予防のため、インマヌエルでは国の指針等に基づいてマニュアルを作成し、対策を取っております。

## 【感染症レベルの設定】

- ◆新型コロナウイルス等の流行段階を以下のレベル1から6まで設定し、その段階ごとに応じた対策をとるようにしています。現在の段階はレベル3としております。
- レベル1（11月～3月末の感染症が流行しやすい時期、保健所等より流行への注意喚起が行なわれた時）
- レベル2（施設の所在地域（小山町・御殿場市）での流行が認められた時）
- レベル3（国内での感染症流行が公的に宣言され、感染症への対応が公的に求められた時）
- レベル4（新型コロナウイルス等の治療困難または治療体制が整っていない感染症が所在地域（小山町・御殿場市）で流行している時、感染症の疑いがある利用者・職員がいる時）
- レベル5（施設内で感染症が流行している時（職員含む））
- レベル6（施設内での感染者数が利用者・職員共に半数を超えた時（事業継続困難））

↓以下、レベル3での感染症対策となります。

## 【マスクの着用】

- ◆インマヌエルの職員全員にマスク着用での出勤を義務付け、勤務中も必ずマスクを着用するよう徹底しています。

## 【体調管理の徹底】

- ◆職員各自に出勤前の体温を計測してもらい（出勤時に職員室の検温簿に記入）、発熱等の症状がある場合には管理職に報告のうえ出勤しないことを徹底しております。また、発熱が認められた場合には、解熱後24時間以上経過し、かつ、せき等の症状が改善傾向となるまでは出勤しないことを継続して頂きます。
- ◆出勤前の検温のほか、勤務中の検温もお願いしています。
- ◆職員が新型コロナウイルス感染症の患者と濃厚接触（患者と同居、互いにマスクを付けないまま数分間の会話、換気の悪い閉鎖された空間に患者と15分以上いた等の場合）していることが判明した場合、最後に接触した日から14日間の就業制限をお願いします。
- ◆利用者に発熱等の症状が見られた場合は別室対応とします。利用者・職員双方にマスクを着用してもらい、介助を担当した職員には部屋を出る際の消毒を徹底してもらっています。

### 【消毒の徹底】

- ◆夜間（夜勤者の勤務時間）及び日中（13：30～13：45）の消毒を徹底して行っています。園内の手すりやドアノブ・トイレ・蛇口等の人の手が触れやすい場所について、消毒液を染み込ませたペーパータオルで拭くようにしています。トイレの掃除には次亜塩素酸ナトリウムを使用しています。
- ◆公用車を使用した際にも、次亜塩素酸ナトリウムでの消毒や車内清掃の徹底をお願いしています。

### 【換気の徹底】

- ◆換気については2時間に1度行うことを推奨し、かつ最低でも以下のとおりに実施することをお願いしています。
  - 起床後（7：30～7：40）夜勤者のコールによって男女同時に行います
  - 日中（13：30～13：45）消毒の時間と同時に行います
  - 夕方（17：15～17：30）事務のコールによって男女同時に行います
- ◆公用車を使用する際にも、なるべく窓を開けた状態での走行をお願いしています。
- ◆引継ぎの際にも換気に気をつけて行っています。

### 【外出の制限】

- ◆利用者の外出については、御殿場市・小山町地域において発病者が確認されていない間は「三密（密接・密集・密閉）」に気をつけ、近隣へのドライブ程度に留めています。
- ◆遠方や人が集中しやすい場所（商店や飲食店、娯楽施設等）への外出は感染症の収束まで自粛するようお願いしています。
- ◆保護者等との面会については、感染経路の遮断のため（緊急の場合を除き）制限しております。

### 【外部からの立ち入りの制限】

- ◆外部からのウイルス侵入を防ぐために、施設内への立ち入りを制限しております。どうしても立ち入りが必要な場合は、予め体温を計測してもらい、発熱が認められる場合はお断りしています。
- ◆業者や郵便局員、宅急便の場合は、来訪者用玄関（職員室前）等の限られた場所にて物品の受け渡しを行うようにしています。

### 【会議の人数制限】

- ◆会議においても職員の密集を防ぐため、換気に気をつけながら可能な限り短時間かつ少人数を行っています。
- ◆職員が全員参加する会議（職員会議等）は行わないようにしています。

今後も必要に応じてマニュアルを見直しつつ、可能な限りの対策を行ってまいります。

# 感謝のページ

敬称略

## 【 寄 附 金 】

社会福祉法人寿光会 平成の杜 / 社会福祉法人寿光会 徳風園 /  
からし種の会 / 大森復興教会 / インマヌエルを支える会 /  
石井 孝一 / 石渡 健二 / 大場 千鶴子 / 小野 和枝 / 金子 澄夫 /  
幸田 真由美 / 小林 洋一 / 島崎 篤子 / 城地 保美 / 高田 村子 /  
舟木 昭夫 / 堀野 寛 / 山口 俊子 / 吉田 孝子

## 【 寄 附 物 品 】

東静岡ヤクルト株式会社 (ヤクルト) / 小畑 城二 (飲料水) / 福櫻建設 (野菜)  
その他多くの方々から、衣料・雑貨などの寄附をいただきました。

## 【 ボランティア 】

インマヌエル祭にボランティアとして参加していただきました。

### ・ステージ

ケ・カイマル フラサークル (フラダンス)  
たなか みどり (ピアノ弾き語り)  
フルヤ トモヒロ (シンガーソングライター・ベーシスト)  
サウス・サウンド・ブリーズ (バンド)  
社会福祉法人大洋社 JOY (ハンドベル)

### ・自治会の店

石村 優希 (聖徳大学) / 井上 真歩 (聖徳大学) / 石和 結菜 (知徳高校) /  
井関 乙葉 (知徳高校) / 矢田 雅姫 (知徳高校) /

### ・音響

矢巻 清一

### ・写真撮影

佐藤 裕美



ありがとうございました



編 集 インマヌエル広報委員

2020（令和2年）年8月1日発行（年1回発行）

発行部数 200部 通巻37号

発行責任者 施設長 高橋頼太

発行場所 社会福祉法人 婦人の園 障害者支援施設 インマヌエル  
〒410-1308 静岡県駿東郡小山町大御神 356-7

TEL 0550(78)1260 FAX 0550(78)1262

<http://fujinnosono.jp/>

E-mail:LSPimmanuel@hkg.odn.ne.jp